

校長つうしん No. 1

Sapporo  
Odori

2016.4.26

鈴木恵一

風をうけて

## 風が変わる



ハナタレ小僧だった頃、補助輪なしで自転車に乗っている近所のお兄ちゃん、お姉ちゃんのことを羨ましくて、いつか自分も補助輪なしで颯爽と乗ってみたいなあと思ったことを覚えています。自ら動き出したときに受ける風は、静かに佇んでいるときとは違う風が吹きます。「風が変わった! 」と感じる瞬間です。

高校へ入学すると、いろいろな面で今までより自由度が高くなります。一方では難易度が高くなることもあります。中学時代は禁じられていたスマホを携帯する人が増え、アルバイトもできるようになります。勉強内容は高度になります。あらゆる面で自己責任の度合いが強まります。立場的には、どんどん社会に近づいているわけです。これまで以上に様々な方向から吹いてくる風を受けることになるでしょう。その時々で風が変わることを敏感に感じとってほしいと思っています。

風の吹き方、受け方にはいろいろあります。「追い風(順風)」という表現があります。大通高校では、あなたが進もうとする方向に追い風が吹くよう、仕掛けづくりがされています。しかし、いつも順風満帆とはいきません。時として、向かい風が前へ進もうとする歩みを止めようとし、横から吹く風が進路方向を変えようとします。

総じて、人生はさまざまな風を受けて歩み続けていくものです。



帆船(sailing ship)やヨットが風上に向かって進んでいる(正確には45°方向にジグザグに進む)光景を見たことがあるでしょうか? どんな方向から風が吹いていても、操作次第で目標とする方向へ進むことができるわけです。向かい風を嫌わず、知恵をしばって風を味方にしたり、自己の成長に必要な試練の風と思って受けとめる度量を持ちたいものです。

私はこの校長通信を通じて、これから人生のいろいろな風を受ける生徒諸君へ向けて、また、大通高校のウェブサイトをご覧になっている保護者の方や中学生の方達と一緒に考えるきっかけをつくりたいと考えています。タイトルは、「風をうけて」にしました。受け身ではなく、自ら主体的に動いて受ける風を感じてほしい。自ら起こした風で何かを変えてほしい。私自身、そうありたいと思っています。